



# 港工同窓会 ニュース

第7号 平成20年4月20日 発行責任者 前田武男

## 再建二十周年を迎えるにあたって

港工同窓会会長

港三期(主)電力科卒 前田武男

私が第二代会長を拝命して二十周年となりました。この間会員の皆様には、定期総会及び懇親会はじめ、会務の遂行に多大のご協力をいただき、役員一同を代表して感謝申し上げます。

三校統合により、母校都立港工業高等学校が誕生し、港区愛宕の地で卒業生を輩出し、わが「港工同窓会」が発足し、会員の懇親と母校の教育活動に協力する形で盛んに活動しました。しかし、諸事情により、昭和三十六年頃から活動がにぶり出し、やがて定期総会も開催不可能な時期がありました。

平成元年に再興のはこびとなり、微力ながら私が会長を拝命いたしました。以来、役員一丸となって、会員名簿の充実をはかり、定期総会を復活し、会員の皆様のご協力を得て会員相互の懇親を図り、母校の教育活動に協力いたしました。

また、母校創立五十周年記念行事には会として参画し、行事を立派に盛り立てることが出来ました。しかし、平成十五年、母校定時制課程の廃止、翌十六年三月、母校都立港工

業高等学校の廃校が実施されました。会務である「母校教育活動への協力」は、母校廃校に伴う諸手続きへの協力がに終りました。大きな目標を失った我々は残る会務に専心しました。都立六郷工科高等学校を廃校になった母校に置き換えて、協力出来ないかと試行しました。事務局も同校にお願いして、設置し、文化祭にもブースを設けさせてもらい、参加しております。勿論、学校にも、会員にもご迷惑をかけております。昨秋の文化祭では、在校生が同窓会のプー

## ◇平成20年度定期総会

今年度の総会は、20周年特別企画として、懇親会に最近テレビ等で活躍中の世界的マジシャン前田知洋氏(港36期C卒)が出演され、皆様の目の前で妙技を披露してくれることになりました。同級生やクラブの先輩後輩等沢山の方が参加されますようご案内申し上げます。

記

日時 平成20年6月14日(土)13時(幹事の方は12時までに集合下さい)  
場所 総会 13時より 六郷工科高校 2階会議室にて  
(京浜急行「雑色」下車徒歩3分)

懇親会 15時より 芝浦割烹「牡丹」にて※  
(都営地下鉄「三田」・JR「田町」徒歩5分)

会費 10,000円(総会のみの方は無料です)  
※参加者多数の場合は会場変更有り、参加者へ別途ご案内します

内容 平成19年度事業・決算報告、新役員承認  
平成20年度事業計画・予算案の承認、その他

※会費は振込用紙の金額を賛助金共12,000円に訂正して振込願います  
※準備の都合上、5月10日までに同封はがきで出欠、転居等返信をお願いします。



**開校から4年間のデュアルシステム科**

東京都立六郷工科高等学校  
副校長 中村 辰夫

平成16年4月に第1期生の入学式を迎えてから4年、平成19年3月には第1期生の卒業式を行うことができました。デュアルシステムにより、長期就業訓練を受けさせて頂いた協力企業への就職者は50%という成果でした。

デュアルシステム科に直接関わる教員も私を含めて12名が新しい教育制度発展のため、慣れない企業開拓、企業訪問を重ねた結果、開校当時74社だった協力企業も200社を超えることができました。協力企業数が多くなりすぎると生徒の選択肢は多様になります。反面生徒数が多くないため、インターンシップや長期就業訓練に行く機会がない企業も出てまいります。これらの企業には教員が時あることに訪問し、協力関係を維持していくことに努めています。

地域交流及び協力関係の推進というところで、昨年8月には、大田区産業プラザP.i.oで、「文部科学省認定・日本版デュアルシステム成果発表会」を開催することができました。発表会には、教育関係者や企業の方

も多数出席頂き、生徒の実体験発表には過大な評価を頂きました。また、本年2月には大田区産業振興協会の協力により「おおた工業フェア」にも参加させて頂きました。デュアルシステム科の広報活動はもちろん、全日制課程の「生徒作品展」も同時に開催され、多数の皆様にも六郷工科高等学校の教育活動を理解して頂けたと思っております。

開校以来、4ケ年が経過して実際に教育活動を行ってみると不都合な面が見えてきたり、企業からの学習内容に対しての要望等もあり、生徒の実態に適合した教育課程の改編が求められてきました。特に国語や数



学に対しての基礎学力の定着が求められ、バランスの取れた教育課程になるよう改編が必要となってきました。その結果、東京都教育委員会とも協議を重ねた結果、平成20年度生から教育課程を一部改編することになり、多様な生徒の実態に合わせた教育課程を編制することができました。

平成20年度生の応募状況は残念ながら多数とはいえず、推薦選抜では定員を下回りましたが、危機感をもったデュアルシステム科の先生方が推薦結果発表後から学力検査受付までの短い期間に精力的に中学校訪問し、また学校も直前学校説明会を実施しました。その結果、学力選抜検査では若干ではあるが定員を上



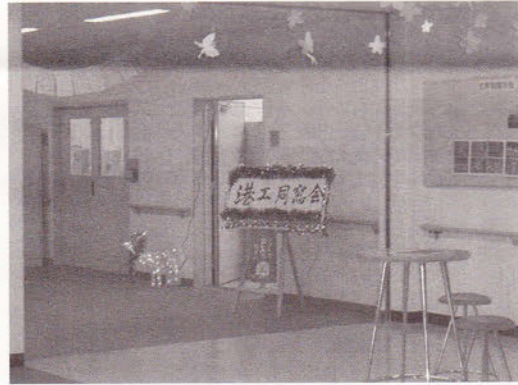
回る応募者を得ることができました。今後も「ものづくり」を中心とした教育活動の展開と、デュアルシステム科の更なる充実を目標に取り組んでいきたいと考えています。皆様方のご協力をお願い致します。





「共感・共汗・共歓」をテーマにした六郷祭は、晴天の11月3日(土)4日(日)に盛大に開催された。各学科・クラブ等の展示内容も年々充実し、各々工夫を凝らしたクラスの展示、アトラクション等バラエティにとみ、来訪者と生徒が一体となって参加し、祭を楽しんでいた。我が港工同窓会ブースも、理事會にて検討・討議した「気楽に誰でも顔を出して入ってこられるイメージ」を出そうと工夫した。

**第4回六郷祭に参加して**  
 港定12期機械科 野口 英司



前夜より準備したブースの入口にはペットの「みな子」ちゃん？でお出迎えし、部屋の中央には喫茶店風に演出したテーブル・椅子を4卓、卓上に花を一輪セット、茶菓を用意し、寛いでもらった。

周囲には、パネルで港工高の沿革、思い出の新聞等を紹介。同窓会の再建總會、懇親会等今日に至るまでの様子をイラスト、写真等で展示した。また山元理事の貴重なコレクション、懐かしき真空管を始め、電気通信機器十数点を展示した。熱心に見入る来室者の姿が見られた(駐車場より我がブースまで搬入・搬出を手伝ってくれた六郷工高の生徒達に感謝)。



壁面中央にはプロジェクターのスクリーンを設置し、港工高の閉校式典、同窓会の總會・懇親会、前田知洋氏のクローズアップマジシャン等々をDVDで投影した。六郷工科高の在校生、職員、PTA、ご近所の方等々、来訪者の数も老若男女を問わず多くなってきた感があった。港工同窓会々員の皆さんにも是非、六郷祭に来校され、我がブースにてコーヒーでも飲みながら、学生時代と近況を重ね合わせつつ談話・談笑して欲しいものと思った。次回にはより多くの会員の来室を楽しみにしています。

**恩師出席予定**

**平成20年度定期總會**

- 関 透 (第12代校長)
- 村上 尚 (第13代校長)
- 和泉 勲 (第14代校長)
- 木村 武敏 (教頭) 全
- 工藤 邦敏 (教頭) 定
- 相川 英昭 (教頭) 全
- 大谷 忠雄 (電子) 全定
- 加藤 琢二 (電気) 全
- 杉野 栄一 (自動車) 全
- 豊山 州生 (自動車) 全
- 西原 要四郎 (教務) 定
- 広橋 恭二郎 (電気) 全
- 両角 亮一 (数学) 全

敬称略

|||||

**恩 師 訃 報**

山崎 隆司 (機械) 全



20周年特集

『会員諸氏の集い』

港工同窓会副会長

港(全)16期M

鍋谷 肇

「港工同窓会」も再興して今年は20年になります。

記念の年でもあり、今回の「港工同窓会ニュース」第7号は、同期会・クラス会あるいはクラブのOB会等々、「会員諸氏の集い」をテーマに特集しました。

過去にクラス会等に参加し、クラス会情報等をお寄せ戴いた会員に、その時の状況・感想・トピック等を書いて欲しい旨お願いしたところ、多数のお返事を戴きました。ご協力に厚くお礼申し上げます。

その内容を以下にご紹介します。活発に活動されているクラスや、長く続けているクラスも多数あり、これからクラス会を始めようと思う方々のご参考になるのではないかと存じます。

1つでも多く、仲間の輪が広がることを期待しています。

なお、紙面の都合もあり、内容の一部を、著者ご了解のうえ編集しております。

高輪(二本)1期E 小堤 一彦

開催日時 平成19年11月22日

開催場所 銀座ラフィナート

(旧京橋会館)

参加者数 10名

「級会」

(幹事) 森、古川、高木

当日参加者10名

(当日出席予定で病欠欠席2名)

(生存者23名)

人生の大事な時期、多感な青春の1ページを共に過した仲間も、時間とともに残り少なくなり感無量。元気に再会を約して解散。

港(全)3期A 波多野 稔

開催日時 平成19年10月末

開催場所 アジュール竹芝

参加者数 14名

クラス会雑感

このところ、なんとなく歳(とし)をとるのが一段と加速したように感じてならない。

あと一・二年で喜寿を迎えようとしている今となつては、とくに加齢が速いとも云えまい。幸い、現在はどうにか元気で生活しているが、いつどのような運命に遭遇するかわからない。

ところで、はや半世紀以上も経つ

た昭和二十六年三月(五十七年前)

に卒業したわれわれ第3期、自動車科のクラス会は、母校周辺に出来るだけ近いところで会場設定することとし、そのときの担当幹事は努力し現在に至っている。とくに、この五・六年前からはクラスメイトの支援を得て、隔年ではあるが時期は「秋」とし、JR浜松町駅から東へ徒歩7〜8分ほどのところにある「アジュール・竹芝」で行うことが慣例化している。

そしてクラス会には、若干の変動はあるものの毎回十五名前後が参加している。

最近のクラス会は、昨年(平成十九年)やはり秋も深まりかけた十月末の夕刻から十四名が元気に参加し始まった。

会場の高層階から眺められる東京湾の夜景とその景観の素晴らしさをバックに、飲み食べ語り続ける。飲み食べ放題のコースに早々満腹する。やはり若かった世代とちがつて飲食が意外と捗らないのは年令のせいかも知れない。さて、ほどよく、頃よく、アルコールも廻り、空腹も満たされてくる頃、会も盛況になり懐かしい在学時のエピソード、体験、経験談などの思い出話や近況をつぎつぎと語り合う。ときには、今でも現

役で活躍しているH君、I君のギタ

ーの演奏や年季の入った艶のある美

声を聴きながら一層、クラス会は盛り上ることもある。また、楽しく、懐かしい語り合いのなかにも、今、われわれが最も現実に身近に関心のある健康、生甲斐についても触れることもある。このように多岐に亘り際限ない話題でついつい時の経つのを腰々忘れることもある。そして終会時には、必ず次回もお互いが健康で再会できることを繰り返し申し合せて散会する。

しかし、ここでいつも思うことに、今回もクラス会に参加できなかった友人がいることだが、その中で、とくに今もって不本意にも病床に何人が居ることだ。さぞかしクラス会に参加できないことを残念がっていることだろう。われわれ健常者は、これらの友人が一日でも早い快復と、あの、かつての元気な姿を見せて欲しい、そして再び語り合い、旧交を暖められることを心より期待している。

まだまだ、われわれのクラス会は続く。  
2008年2月16日 記

港(全)7期M 中島 勇

開催日時 平成19年1月28、29日

開催場所 湯河原温泉



参加者数 6名  
 開催日時 平成19年11月5、6日  
 開催場所 塩原温泉  
 参加者数 7名

7Mクラス会、1泊2日の小旅行  
 愛宕山の校舎を巣立ってから早53年となり入学時には40名だった仲間が今では確実に連絡が取れるのが14名のみとなり寂しい限りです。当然のことながら既に70歳を過ぎています。その14名はすこぶる元気です。

そんな中でH19年は2回の一泊小旅行を実施しました。1月28、29で湯河原温泉、11月5、6で塩原温泉と楽しんできました。参加は湯河原で6名、塩原で7名と出席率は5割ですが出席できない人は仕事を持っていたり、サークル活動と重なったり、地域の活動をしたりで、それだけ活発に元気でいる事だと思います。

通常の年ですと通いなれた新橋駅近辺の中華料理の「新橋亭 新館」で年1回クラス会をするのですが昨年は小旅行となりました。旅行にしろ、クラス会にしろ、集まれば何時もあの無骨なコンクリート3階建ての校舎で過ごした3年間に瞬時に戻り、16〜18才の純粋だった青年にタイムスリップします。  
 考えてみれば70年間の人生で港

工高で過ごしたのがたったの3年間だけで今まで生きてきた中の時間にして、たったの4%です。この4%が如何に楽しい時期と、有意義で大きな部分なのかは集まりの時の仲間の顔を見て、皆が穏やかな顔をしていている事です。

これからの残された人生もあの「港工高の3年間」と同じような「穏やかな、いい顔」をして過ごしたいと思えます。

しかしながら、総て良いことばかりではなく残念なことに昨年クラス会には「皆勤賞」であった一人が心臓病の為に我われより先に「極楽浄土」に旅立ってしまった。旅立ちに見送りに来た仲間とあらためて「健康」についての話をしながら会食をし、今年のクラス会に向かって想いをめぐらしながら帰宅しました。この様に我われ、7M会は細々ながら人数は少ないけれど今後も交流をして行きたいと願っています。  
 同窓生の皆様もどうか何時までもお元気でいられることをお祈り致します。

**港(全) 7期E2 鈴木 一男**

開催日時 平成18年6月7日  
 開催場所 かまくらクラブ  
 (日立鎌倉ビル)

参加者数 11名

昭和30年3月に卒業した私達は翌年の1月15日に第1回のクラス会を開催し、その名を一五会と名付け53年後の現在に至るまで続いているのは幹事役、秋元氏の熱心さの賜物と感謝しております。  
 昭和27年4月に入学したとき40名の学友も卒業時には30名となりましておりました。その30名も現在では物故者5名、住所不明1名となりクラス会開催時は24名の方に案内しております。

平成18年6月7日に開催した一五会は古稀を迎える年でもあり、山田信幸先生にもご出席願いました。参加者は上記の11名で思い出話に花を咲かせ、楽しい一時を過ごす事が出来ました。経費の関係もあり、開催場所は退社した会社の寮をお願いして利用する様にしてあります。この会に栗山氏は愛知県小牧市から参加してくれました。

**港(定) 9期C 佐田 一郎**

開催日時 平成19年12月1、2日  
 開催場所 伊豆下田海浜ホテル  
 参加者数 11名  
 心に残る級会―  
 磯の香りの伊豆下田の旅  
 師走とは名ばかりの12月の初め

早朝の空気は少々身に沁みたくやうでしたが新宿駅西口を出発する8時には、そんなことはもうどうでもよかった。久々振りに逢った総勢11名の級友は笑顔とお喋り、今、学校の教室から出て来たかのような不自然さがなかった。あゝこれが幾年を経ても学友の気持なんだとひとり呟いた。そんなこんなのうちにもバスは目的地である伊豆下田海浜ホテルへと進んだ。勿論、途中あちこちと休憩・見学を楽しみながら目的地へ到着。しかし誰れもが疲れた様子もなく、それぞれに大浴場で汗を流し、夕食会場へと向った。バイキング方式です。みんな不慣れな盛り付けで歓談の渦のあと、ロビーで雑談する者、カラオケに興ずるもの、時間がいくらあっても足りないような気がした。そして何時寝ることもなく大いびき。翌日も定刻にバスは出発。昨日出発点であった新宿に無事バスは到着。新宿の色とりどりのネオンを背に各自帰路についた。思えばあの港工高の生活が一瞬の走馬灯のような気がして、人生っておもしろいものだなあとあらためて実感した。でも考えてみると一つの点であるかのようだが、今回参加した級友11名がガッチリと結びついて、またの出逢いを誓い合い、希望に満ちて別れたあのバス停の場所がまた新しい人生



の出発点であるのではないだろうか  
と。  
さー、また元気で逢おう！  
いつも会の運営にお力になって下  
さいます役員の方々に心から感謝い  
たしております。

港(全) 10期 E2  
池田 克良  
牧野 和男

開催日時 平成19年 6月9日  
開催場所 酒菜浪漫亭(新橋烏森)  
参加者数 17名

港工高第10回卒業3Eクラス会  
私共は、港工業全日制電気機器課  
E2コースを昭和33年に卒業しま  
した。

映画の『Always 3丁目の夕  
日』に出てくるように、東京タワ  
ーの川上が引退しフレッシュな長島三  
塁手が登場し国鉄の金田投手にキリ  
キリ舞をさせられたり、一万円札も  
登場した頃ですが、好景気で皆有名  
な一流企業へ就職していきました。

クラス会は何年に一回は開かれて  
いたのですが、主に、我々が60歳の  
定年を迎える頃の平成10年より、毎  
年、6月の第二土曜日に学校の最寄  
り駅の新橋の烏森通り近くの酒菜浪  
漫亭で開催されています。

担任の田島貞雄先生がお元気であ  
り、毎回暖かく我々を50年前と少し

も変わらない笑顔で迎えてくれ本当  
に涙が出るほど有り難く、皆で感謝  
しています。

平成19年度のクラス会は、田島先  
生の傘寿のお祝いを兼ねて行なわれ  
ました。先生も最近では体調が万全で  
ないようでしたが、昔ながらの文筆  
活動は衰えていないとの事で一安心  
しました。

毎回20名近くの参加者があり出  
席率の高いには驚かされています。  
挨拶も抜きに握手で友と逢い  
という感じで、会えば直ぐに昔の若  
い頃の雰囲気になってしまい、大い  
に呑み、食べ、歌い楽しい一時を過  
ごし、明日の元気を貰って帰るよう  
な気がしてなりません。

このクラスにはMBC、港籠球部  
のメンバーが6人おり、卒業以来  
延々と会合を重ねており、有に100回  
は越えている事でしょう。先輩にし  
ごかれ、走らされ、愛宕山のあの急  
な階段を登り降りさせられ、定時制  
の生徒が登校する薄暗くなり校庭の  
照明が点る頃ようやく練習が終わり、  
その時、飲んだ水道の水の旨かった  
ことが忘れられません。長い人生か  
ら見れば短い時間でしたが多感な若  
い時期に共に努力した仲間のあった  
有り難さは言葉に言い尽くせません。

クラス会の話の中で、ゴルフ愛好  
者が多かったので集まってやろうと

言うことになりセットしてくれる友  
がおり、毎月、佐倉で実力の維持だ  
か向上だか分かりませんがやってい  
ます。50年来の友だけのコースを回  
るのは珍しいと言われたりしていま  
すが、仕事は定年になりましたが、  
ゴルフは現役だなどと頑張っていま  
す。年に一回ですが宿泊ゴルフに行  
き、運動、酒、カラオケなど元気に  
楽しんでいきます。一昨年は水郷霞ヶ  
浦、昨年は養老溪谷へ行きました。  
スコアはともかくいつまでも出来る  
といいねなどと話しあっています。

港(全) 12期 M  
小林 保男

開催日時 毎年 6月第1日曜  
開催場所 新橋  
参加者数 15、16名

毎年6月の初旬に母校に近い新橋  
に集いクラス会を、催しております。  
1988年に最初6人でスタート、  
その後現在に至る。最近では15、16  
人のメンバーが定着、遠くは名古屋、  
宇都宮から参加してくれました。この  
20年の間にクラスメイト2名が残  
念ながら他界しました。改めて自分  
達の年令を感じています。

話題はいつも在学中の楽しかった  
事に弾みます。  
特に私共Mコースは2年連続運動  
会に優勝しており、最終学年に3連

覇が掛っていました。一周200mの芝  
公園グラウンドにて、応援団長を買  
ってでた私は、応援、競技、仮装行  
列等、目一杯頑張り見事3連覇。苦  
しかった800m競走、もつと辛かった  
駅伝大会(多摩川土堤)等々、全つ  
たく高校生に戻っての3時間。  
一年の行事の中で最も楽しい一時  
を過せる時間です。  
この連中と一杯飲める至福の時が  
いつまでも続く様祈ってます。

港(全) 12期 E2  
鶴田 浩一

開催日時 平成12年から毎年1回  
開催場所 1、2泊の旅行各地  
参加者数 16、20名

昭和35年3月、我々12E2クラ  
ス45名はそれぞれ、電力、電機、商  
事、自動車、製鉄、金属、鉄道等々  
の実業界に向かって港工業高校を巣  
立ちました。

就職難が巷で云々される時代でし  
たが何とか全員が就職を果たし、卒  
業しました。  
凛とした、規律の高い校風のもと  
に3年間を過した幸せなメンバーで  
した。  
今思うと何ともまじりがあるよ  
うで無いような始終問題を起しな  
がらのクラス運営だったこともあっ  
た様子で、担任の故府川先生には大



変な迷惑をかけていたことが今でも我々では語り草になっています。NHK放送博物館のある愛宕山、日比谷公園、芝公園、建設中の東京タワー、慈恵医大のいかにも歴史を感じる建物、年末になるとアルバイト募集がある芝郵便局、等々学校周辺の環境は今でも忘れることはありません。

卒業以来48年を数えることとなり、当時の紅顔の美少年達もとうに還暦を過ぎそろそろ人生を振り返って思いにふけり、孫の手を取って好々爺を決め込む年齢となりました。実社会に入ってそれぞれ世間の洗礼を受け、これに耐え、生き抜いてきた実績と感慨からか、同級生は今頃どうしているだろうと高校時代の写真を眺めるにつけ考えることも多くあるのではないのでしょうか。

クラス会開催の発案が出たのは極めて自然な成り行きとも言えるもので、暫く音信不通だった同級生から突然に年賀状が届いたり、ある結婚式に参列した際、偶然隣席者との会話から同級生の名前が不意に飛び出したりと言ったこともあり一気に長期間のブランクが消え去り、電話のやり取りが始まることになりました。30数年振りの再開は、懐かしさと楽しさであつたという間の数時間の再開でした。平成9年(97年)に37年

ぶりの再会を果たした後、00年からは年1回のペースでクラス会が開催され毎回16〜20名の参加を見ております。記憶にあるものだけでも列記しますと

- 00年 会食会(秋葉原)
- 03年 伊豆修善寺
- 04年 石和温泉
- 05年 九州嬉野、雲仙
- 06年 伊豆稲取
- 07年 千葉安房小湊

それぞれ1〜2泊旅行で、添付の写真は千葉安房小湊でのクラス会です。

これまで続けてこれたのは、なんと言つても中心となつて会の企画から実施、庶務事項、フォローまでしてくれる剣持さんという常任幹事長(?)の存在が欠かせません。

またクラスのメンバーの個性も強く、バラエティーに富んでいることも要因のひとつでしょう。九州在住のハンディーをもつとせずつクラス会の全会合に出席されている小森さんも名物の一人です。当時の出席順を完璧に記憶されている河原崎さんが出席を読み上げると40数年前の授業風景が眼前に彷彿としてきます。校歌あり、カラオケありで楽しんだ後、再開を約して散会となります。既に鬼籍に入られた方3名、住所未確認の方9名、手を尽くし出来れ

ば全員の所在を確認したいものです。ちなみに今年のクラス会は新潟県の大湯温泉を計画中で、ついでにゴルフも楽しもうかと企んでおります。今後も可能な限り12E2クラス会を継続していきたいものと願っています。

**港(全) 14期 C 守屋 正弘**

開催日時 平成19年6月23日  
開催場所 中華酒館HOI  
参加者数 23名

数年前まではみな現役が多かったため、クラスの開催も数度でしたが、最近では還暦(定年)を向かえ時間の自由が利くようになった為、毎年開催することになっています。

今回は先生を含め23名が集まり又初参加者も何人かおり昔に帰って思い出話や近況を話題に、職場の話と違い気心の知れた仲間同士で花がさいて、あつという間に数時間が過ぎてしまつた。

今回のクラス会は温泉どまりでという案が出ており、実現すればまた新たな思い出が生まれるものと思う。1962年卒電気通信課有志でホームページを作っています。電気通信課卒業42名で今回参加23名、卒業後46年たつており、連絡の取れない者9名、他界1名、都

合で出席できなかった者6名。

**港(定) 15期 C 鈴木 靖雄**

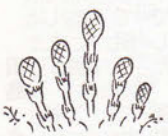
開催日時 平成19年7月8〜10日  
開催場所 種子島宇宙センター  
参加者数 12名

私たち15期定時制電気通信科は年1回のクラス会を阿部先生と一緒に行つております。また飲み会も時々行つております。

昨年は7月に阿部先生のご紹介で種子島宇宙センターに行きました。元宇宙センター勤務の方にご案内していただき、また宇宙センター広報の方にも説明に付いていただきまして、専用のマイクロバスで施設を見学できました。残念ながら月探査衛星『かぐや』の打ち上げ前でしたので、予想以上にセキュリティが厳しく見学を制限されましたが、充分楽しむことができました。

旅行前後は大雨でしたが、種子島では雨に降られる事がなく楽しい旅行となりました。親子参加も2組ありました。

今年も湯沢旅行を計画しております。





返信はがきからの近況・想い出(特別会員)

旧(第10代校長) 村上 五雄

同窓会再興20周年お目出度うございませぬ。私の在職中に、同窓会再興の機運が盛り上がり、前田氏外の方々が筆舌に尽くしがたいご苦労のすえに第1回の総会を開催されたのを覚えております。その後は前田会長はじめ役員の方々の献身的なご協力により、港工閉校の困難を克服して、同窓会の維持・発展に邁進されておられることに心から感謝しております。

旧(教頭)定 三谷 和夫

足かけ10年お世話になりました、愛宕山にもいきました、なつかしい思い出がいっぱいです。その学校がなくなつてかなしい、卒業生の皆さんの活躍をぜひ祈りたい。

旧(教頭)定 石井 良治

昭和62年、教人の職員と野島公園近くの「幻の移転先候補地」を見に行き、広大な埋立地に目をみはりました。結局土地取得はなりませんでした。

旧(第12代校長) 関 透

校地が狭く、せまい校庭を有効に利用するクラブ活動。熱心に指導する先生、がんばる生徒。先輩からのよき伝統が引き継がれ、充実した学校生活を送られた同窓生もその後の友情の絆で結ばれ、同窓会再興20周年を迎え、増々結束され会の発展・充実に協力してほしい。

旧(教頭)全 新井田 円二

全ての事が遠い々々ボンヤリとした思い出になりました。忘れ去ったことが多くです。身体の方もだいぶ弱つて遠出はできません、残念です。皆々様にどうぞよろしく。

旧(教頭)全 木村 武敏

港工高は、4年間の勤務でしたが、充実した日々を送れた思い出に残る高校です。港工高OBの方々が、優秀な技術者としてものづくり大國、日本を支えていることに誇りを感じ

ます。

旧(教頭)定 工藤 邦敏

4月から六郷工科に勤めています。

旧(教頭)全 相川 英昭

小転校の狭い施設をやりくりして、皆なが頑張っていた姿がなつかしいです。

旧(自動車)全 明石 朗

昨年春よりリュウマチ多発筋痛症にかかり、目下療養中です。皆さんのご健勝をお祈り申し上げます。

旧(電子)全 片山 茂

出席したいが、身体が動かない。

旧(電気)全 高橋 光春

入院していましたが、今年こそ節目の年なので出席したいと思つていましたが、どうも自信を失いました。

旧(電気)全 小澤 彰

私も妻も病気のため、出席できず、すみません。通信費ぐらひは拠出したいと思つたので、振込先を教えてください。

旧(機械)全 佐野 元

過日慈恵医大病院に行き、港工業を見て、感無量でした。

旧(英語)全 田島 貞雄

港工高は男子校でしたが、戦前・戦中の男子校という先入観は、全く的外れでした。総じて朗らかで物分りのいい生徒が大半でした。運動会での呼び物は仮装行列でした。男子校の筈なのに、筈だからこそかもしれませんが、和装・洋装の麗人の登場は言うまでもありません。当時は石原慎太郎の「太陽の季節」が読書界の注目を集めておりましたので、口紅も濃厚な、赤いネッカチーフに水着姿のアプレ・ギャルが、しゃしゃり出てきましたのには、思わず笑いを誘われました。

旧(電気)全 小又 良一

春になると想い出すのは愛宕山のトンネルです。神谷町の方から歩いてくると、トンネルの入り口近くの桜が美しく、私にとって港工がらみの名所です。それに忘れないのは校歌「愛宕の緑さわやかに」で始まる3拍子、名曲です。真・善・美を始として、世の中すべて3を基に動いているという説にも納得したくなります。

旧(機械)定 相田 正三

定時制の技師補として理科教科の田実先生の許で務めさせて頂いた頃が本当になつかしく想い出されます。



昼間は東京物理学校で応用化学科の勉強を・・・。一日一日が素晴らしく充実していたように思えます。

旧(機械)定 三津田 宏

在職中、生徒諸君たちと過した日々を懐かしく思い出します。機会をみて一度、六郷工科高校に参じたいと思っております。

旧(体育)全 吉野 尚也

現在東京女子体育大教授として教職に当たっています。港工高では、20歳代後半の5年間、その内自動車科の担任として個性豊で優秀な40名の生徒との3年間でした。2年に1度のクラス会が楽しみで、今年は八丈島に還暦間近かの教え子と旧交を温める予定です。

旧(数学)全 両角 亮一

グラウンドの無い港工にとって運動関係の行事は外の施設を借りねばなりませんでした。運動会は芝公園のグラウンド(当時はスタンド付、その後は野球場)で行なわれました。競技はさることながら仮装行列、応援合戦にも力が入っていました。雨の時は校庭で工夫を凝らして行ないました。そんな時は狭い校庭もあまり気にならなかつた様に感じました。懐かしく思い出されます。

旧(社会)定 藤崎 ミヤ子

40年の教員生活で、思い出すことが一番多いのは、18年過した港工定時制の頃のことです。高度成長の真只中、残業に追われる生徒が、出席日数不足で卒業があやうい。5時半になると職員室の戸をがらりと開けて「俺来たよっ!」ときげんですぐに出席。卒業。そういう生徒が日本の生産現場を支えていたのですよね。

旧(英語)定 福井 祥

港工定は、新任の学校で、しかも18年間も在籍した、最も思い出のある学校です。今でも時折50、60代になった卒業生と会ったり、クラス会をしています。

旧(英語)全 馬場 幸雄

昨年港工を訪れてみました。中まで入れませんでした。困りの変化とくらべ港工と慈恵医大が昔のまま残っているのが印象的でした。次回は増上寺の方まで足をのばしてみようかと思っています。

旧(電気)全 前嶋 正人

港工高では、いろいろ勉強させてもらいました。その後の学校生活に大いに役立たせてもらいました。あの時の生徒もいい親父になっているのかなと思う日々です。

かなと思う日々です。

旧(数学)全 栗原 幸一

初めての学校でしたので、時々昔のことを思い出しています。

旧(数学)全 田神 仁

都立杉並工業高校で校長をしていました。港工での10年間に学んだことを生かし、港工に負けない学校づくりを進めています。港工では、ずっと卓球部顧問でしたが、杉工でもときどき卓球をやっています。

旧(国語)全 矢部 玲子

同僚たちが修学旅行で来道した際、再会できた、という思い出が・・・。またのお越しをお待ちしています。

旧(国語)定 持田 ひろ子

春になると愛宕山の桜を思い出します。

旧(嘱託技能) 中村 久子

前の港工業の場所に行きますと、懐かしい思い出が私の頭に浮かんできます。

旧(国語)全 中島 輝雄

亡くなった父の出身校であった港工は、生徒に恵まれ、楽しいクラス経営でした。生徒たちに感謝です。今

は私自身、青山学院大学大学院で学生として勉強しており、研究者の道を歩んでいます。IPS細胞の成功で勉強が追いつかない状態ですが、充実した日々を過ごしています。

旧(電子)全 南澤 晴夫

国分寺駅南口「囲碁茶房・信濃」で席亭をしています。近くに來られたらぜひ寄って下さい。

旧(国語)全 川田 裕美子

港工の最後の4年間を過ごしました。閉校の年の港工祭には、大勢のOBの方々が遠方から駆けつけて、往時を懐かしんでいらつしやつた姿が大変印象に残っています。

旧(事務) 安田 憲俊

先日、港工業高校の跡を通りました。現在も警視庁が使用していて、なつかしかったです。でも、生徒の声も聞こえてこない、ひっそりとした校舎はちよつとさみしい気がしました。まわりはあまりかわらないのに。

旧(自動車)全 大塚 健一

課題研究で六郷工科に残っている。フォードを当時の生徒たちと、バラシタ事、もちろん清浄、エンジンもクリーンにした事が思い出に残っております。



二十周年記念誌より  
貴重な体験を

港(全)12期E2 伊藤 操

今振り返ってみますと、数多くの思い出が浮んでまいります。中でも生徒会活動にはとくに生徒会長の立場上力を注がざるをえません。たので、思い出という大半がその活動の中からであり、辛いこともありました。その一つ一つが自分にとってはやり甲斐のある仕事で、社に出るからは授業で習ったこともさることながら、仕事面での交渉、会議など人間関係に欠くことのできない要素を学び得たことを今では感謝しております。

学校行事の筆頭は何といっても学祭であり。各クラブの全成果を発表する最大の機会でもあります。で、夏休みが終わると早くも夜までいこんでパンをかじりながらの活動が始まります。会長としての私の仕事は、プログラムおよびボスターの作製、部員割りの交渉、総務の展示企画、菓子の購入など仕事は切りがありません。プログラムの作成一つにしても、表紙の公募、各クラブからの原稿集め、広告取り、グラビヤの依頼、印刷、校正と、とても学校だけでは消化しきれず家に帰って夜

おそくまで取り組んだこともしばしばありました。そして印刷は近くの斉藤印刷に頼みましたが、そのおやじさんがとてもいい人ですがまたのんびりやで、間近に学校祭が迫ってもなかなかでき上がらず、仕方がないので六平先生と押しかけて夜なべで一緒に手伝ったりもしました。それでも一冊のプログラムとしてインクのおおもりも生々しく完成すると、そのよろこびで今までの苦勞も吹き飛んでしまいました。また前年から女子高校の華道招待を行ないまして山脇・戸板・東京女子・順心・三田と親善をかねて各校を訪問し、女子生徒に囲まれてお茶を飲んだり(喫茶店ではありません)、あんみつをご馳走になったりしながらお願いしましたが、おおよそ、女性に縁のない当校の生活でしたので、この話を聞くその他の生徒のひがむことといたら大変でした。

学校祭も無事に終ると年を越して今度は駅伝大会ということになりました。私はマラソン大会を企画してみましたが、この話は聞く大会をみてみますと、各クラスとも出場者のみの大会でしかなく、他の生徒は傍観者としてぶらぶら一日過ごすというのが実情だったので、それならば全員参加という形でマラソン大会に切りかえた方が有意義であ

ろうと思ったからでした。当時は道路事情が今ほど悪くなかったので、各学年にわけて全員が走ることできました。ちょうど一万メートルを寒風をぬって走るので、競技中は苦痛でしたが、走り終ったときはなかなか気分そう快でした。その上自分のクラスが優勝したので疲れもどこへやら、府川先生を囲んで大はしゃぎしたものでした。この他、卒業生の歓送会への出演交渉で三遊亭円歌師匠を楽屋に訪ね苦勞話を聞いたり、また、謝恩会のあとで夜間大学の入学試験を受けに駆けつけたり、いろいろな思い出があります。自分にとってはすべてが一生の思い出となる貴重な経験でありました。在校生の諸君にも学習面だけでない高校時代を過ごしていただきたいと思っております。

最後に諸先生方のご活躍とご健康をお祈りします。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

語劇”の話をお書きになられているのを拝読し、懐かしさの余り筆を取りました。田島先生が何年間、英語劇”の演出を続けられたかは不明ですが、私はその頃、この劇に出演した一人です。どのようなテーマの劇だったかはまったく記憶にありませんが、「Well! Well! Well!」で始まる劇中のせりふは今でも時々口をついて出てきます。電気通信科の友人は、当時景気の良かった電気関係の会社や次々に設立されたテレビ会社に就職が決まって行く中、大学に行くべきかどうか迷っていた私は田島先生の指導で「英語劇”の練習に熱中していました。

40年近いJTB勤務中、ロスアンジェルス・ニューヨーク・ホノルルと3回合計11年半に亘る米国勤務や現在の日本観光通訳協会の仕事の原因になったのは、田島先生の指導によるところが大きいと今更ながら感じた次第です。

田島先生、本当にありがとうございました。少々遅きに失しましたが、心より感謝申し上げます。末永くお元気で過ごされることを念じております。

寄稿文  
港工業の思い出

港(全)13期C 北村 嵩

平成19年10月20日付の「港工同窓会ニュース」で、田島先生が昭和36年頃に演出された学校祭での「英





「五十周年記念誌より」  
港工の思い出

旧(自動車全) 明 石 朗  
(元都立鮫洲工業高等学校校長)

港工が50周年を迎え心からお祝いを申し上げます。

私は昭和20年から昭和52年3月までの32年間と講師をした7年間で港工にご厄介になりました。それで自動車科の思い出を一つ申し上げます。

昭和24年の春、機械工作課程と同時に設置された自動車課程は、自動車構造の講座はあっても自動車実習の設備は殆どないといつてよい位で、シボレ・オベルの中古機関の機関実習で、工場は機械工場のごく一部分のスペースを使用するものでした(当時の機械工場は104坪木造平屋建です)。それから今日の様な鉄筋コンクリート建の近代的自動車工場となり、工場・実験室に最新機器の設備が出来、最新の車輛や機関等機材は多数で多岐に及んでおります。そして秀れた先生方のご指導によって自動車教育が行われています。この歴史の変遷と教育内容の充実はまことに今昔の感に堪えません。しかしながらそれでも自動車科創設当初の先輩たちはいろいろと工夫をして自

動車の勉強をしました。今の様な立派な工場がなかった昔は、夏期休業中或は放課後の時間に、企業の工場に向いて直接現場工場で勉強をしました。その例がA型フォード車の整備実習です。当時8月の夏期実習の教材にフォード車を芝浦自動車会社に搬入して、現場の方々に指導をいただきオーバーホールをしました。確か自動車クラブ費15,000円が基金でした。ピストンを買いました。

ピストンを買いシリンダをボーリングしバルブを摺り合せ、メタル類を直して機関を完成しました。それからシャシ・車体の整備をして陸運局の車体検査を受けて路上走行実習に供しました。この車はその後10年程公道を走行して多くの卒業生の勉強に利用いたしました。学校に初めての車輛が完成しますと有名になり、教育庁の廃車も教材として配車していただけると、予算の獲得にも効果が大変ありました。この車を作った卒業生ももう定年を迎える年令になりました。私も忘れることが出来ない思い出です。

どうか今後とも一層のご発展と21世紀の自動車教育の中心は、港工がその基幹となつてますます盛大にご発展、ご活躍されますことをお祈りしてお祝いのごことばといたします。

「五十周年記念誌より」  
切れぎれのあかりの下で

旧(用務定) 岩 井 智 恵

私が母の代りにパンの売場に勤務したのは昭和31年頃でした。9時よりの夜の7時半迄全、定の生徒にパンを売って居ました。その頃の定時制の生徒は何時もお腹ペコでお金もありませんでした。パン屋が私の夜食にと食パンの耳にジャムとバターをつけて持って来てくれるのは大抵お金のない生徒の夜食になりました。でもパンを喰べながらも教科書は何時もしませんでした。昭和34年にたくさんの先生方の厚意で(今は全部故人になられました)定時制の用務主事になりました。

その後定時制の入学志願者が都立校で1番という空前の事がありました。"東京で1番と云う事は日本で1番と云う事だよ君、アハハ。"等と電話で気炎をあげた家田先生も早くに故人になりました。また忘れられないのは学校祭です。全定合同の為、定は2教室しか展示出来なかったのですが、そんな中でも圧巻は全定演劇合戦です。時間のない定の生徒は何時何処で古い古をしたのか、赤い陣羽織対三年寝太郎は今でもわざわざかに思い出されます。初めて定

時制独自の愛宕祭が誕生した感激は忘れません。幾日か泊りの日が続き、布団も毛布もなく、寒くて"どん張"の中にもぐり込んで寝たのも今では懐しい思い出になりました。これも生徒の熱心さの所以でした。

これが生徒の熱心さの所以でした。時代が変り、生徒の数も減り職員も愛宕祭参加の余儀なきに、コーラス、寸劇と、それはまた違った楽しみになりました。完全給食になって食物も平気で捨てられる時代になりました。昔を回顧する事は年をとったあかしなのでしょう。昭和58年退職、たった12年位なのに学校を尋ねても最早知らない方々ばかり、学校もぐんと遠くなりました。寂しいな、と思うのは私ばかりでしょうか。そんな中で昨年新納先生が亡くなりました。お通夜には新納先生教頭時代の定時制の職員ほとんどが顔を見せ、悲しみの中にもほっと心が慰む思いが致しました。勿論先生の御人徳にもよる処ですが、良き時代の思い出が甦り、告別式にも参りましたが、後々迄奥様にも感謝されましたが、先生も天国で喜んで下さったのではないのでしょうか。





◇事務局からお知らせ

◎会則改定による賛助金のお願い

平成19年度の総会案内及び会報は、全員(住所判明者約5,500部)に送付しました。賛助金は609名の方に送金戴き、前年比98%でほぼ同じでした。

前年と同程度の賛助金につき、本年度も12ページの会報を全員に発送出来ることになりました。

同窓会の収入は会員の賛助金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いいたします。

郵政民営化により振込手数料(同窓会で負担)が高くなりました。

窓口振込 70円 ↓ 100円  
ATM機 60円 ↓ 60円

※郵便局のATMを使えば、  
①土曜・日曜も振込出来ます。

②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し、金額のみ押せばOKです。

③窓口より待ち時間が早いです。

◎総会会費の事前振込みをお願い。  
受付での現金授受混乱回避等、ご理解・協力をお願いします。

賛助金振込み用紙を使用し、金額欄の2,000円を12,000円にすればOKです。(賛助金+臨時会費)

◎卒業生への諸証明発行について

都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒144-8506  
大田区東六郷2-18-2  
京浜急行「雑色」下車  
国道沿い徒歩3分

TEL 03-3737-6565  
ご不明の点につきましては、  
東京都教育庁高等学校課  
TEL 03-5321-1111  
へお問い合わせ下さい。

◎会員数の把握状況

H20.3月現在

区分	在籍数	確認数(亡)	
正会員	高輪1本	771	84(76)
	高輪2本	768	45(75)
	麻布1本	485	157(115)
	港・定	3,866	663(63)
	港・全	9,773	3,973(198)
計	15,663	4,922(527)	
特別会員	旧校長	15	7(8)
	旧職員	626	325(115)
	計	641	332(123)

☆同窓会会務の連絡先について☆

住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記へお願いします。

記

〒278-0036 千葉県野田市中野台鹿島町23-7

(株)クリーンジャパン内

港工同窓会 松岡信之(会計理事・港16期A)

TEL 04-7125-6808 FAX 04-7125-6851

E-mail: matsuoaka@minatokou.net

☆平成19年度の収支状況

前期繰越額	3,077,499.-
収入の部	1,626,685.-
臨時会費	350,000.-
賛助金 609名	1,218,000.-
寄付その他	58,685.-
支出の部	1,826,770.-
総会費 52名	504,152.-
通信費	702,625.-
広報費	381,599.-
文化祭費	51,721.-
事務その他	186,673.-
次期繰越額	2,877,414.-

掲示板

☆全日制昭和33年卒10期生の

皆さんへ

卒業50年!一つの区切りかと思  
います。この総会を機に集まって、  
旧交をあたためてはどうでしょう  
か!お待ちしております。

港(全)10期理事E2 西村

※掲示板を設けました。活用下さい。

編集後記

「港工ニュース」第7号も六郷工科  
高等学校の中村副校長様をはじめ会  
役員・同窓生の方々多数のご協力と  
ご支援のお陰をもちまして発行でき  
ました事心より厚く御礼申し上げます。

同窓会再興20周年を迎え、ここま  
で続いたのも、会員の皆様の母校に  
寄せる想いの大きさのお陰と思いま  
す。ご要望があるかぎり、微力なが  
ら継続の努力をする所存です。

編集者一同

※創立20周年記念誌(昭和41年)、  
50周年記念誌(平成8年)の寄稿文  
を順次掲載する予定です。本誌をご  
希望の方は閉校記念誌を含め、在庫  
が有りますので、一報下さい。